

幸せを育てる本


# 因縁の話

いんねん

はなし

教育まんが





〈三徳〉

慈じ  
悲ひ

思いやる心こころがありますか

至ま  
誠こと

持ち続けるつづことができますか

堪かん  
忍にん

堪たえることが  
できなが  
ますか  
流ながす  
こと  
が  
で  
き  
ま  
す  
か

日達  
四





幸せを育てる教育まんが絵本

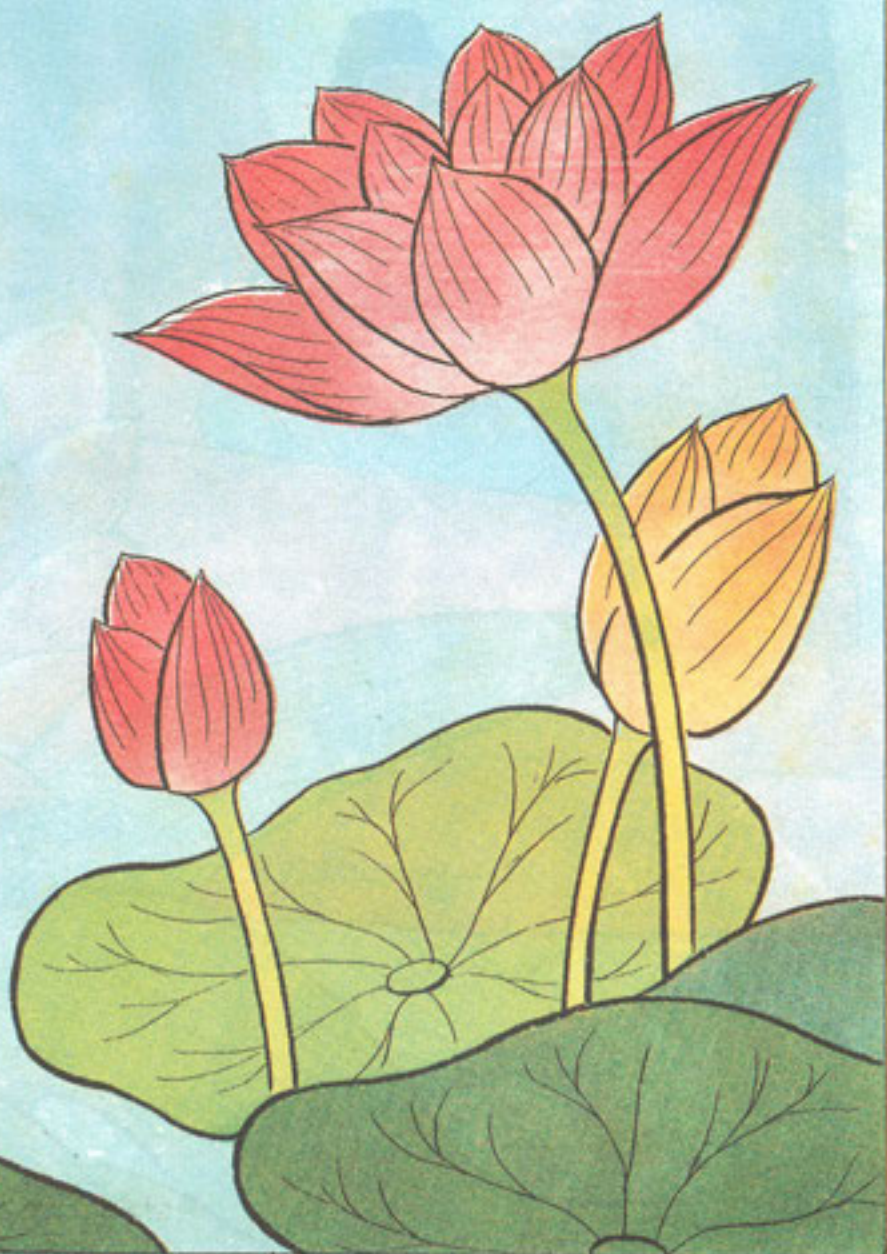
# 因縁の話

いん

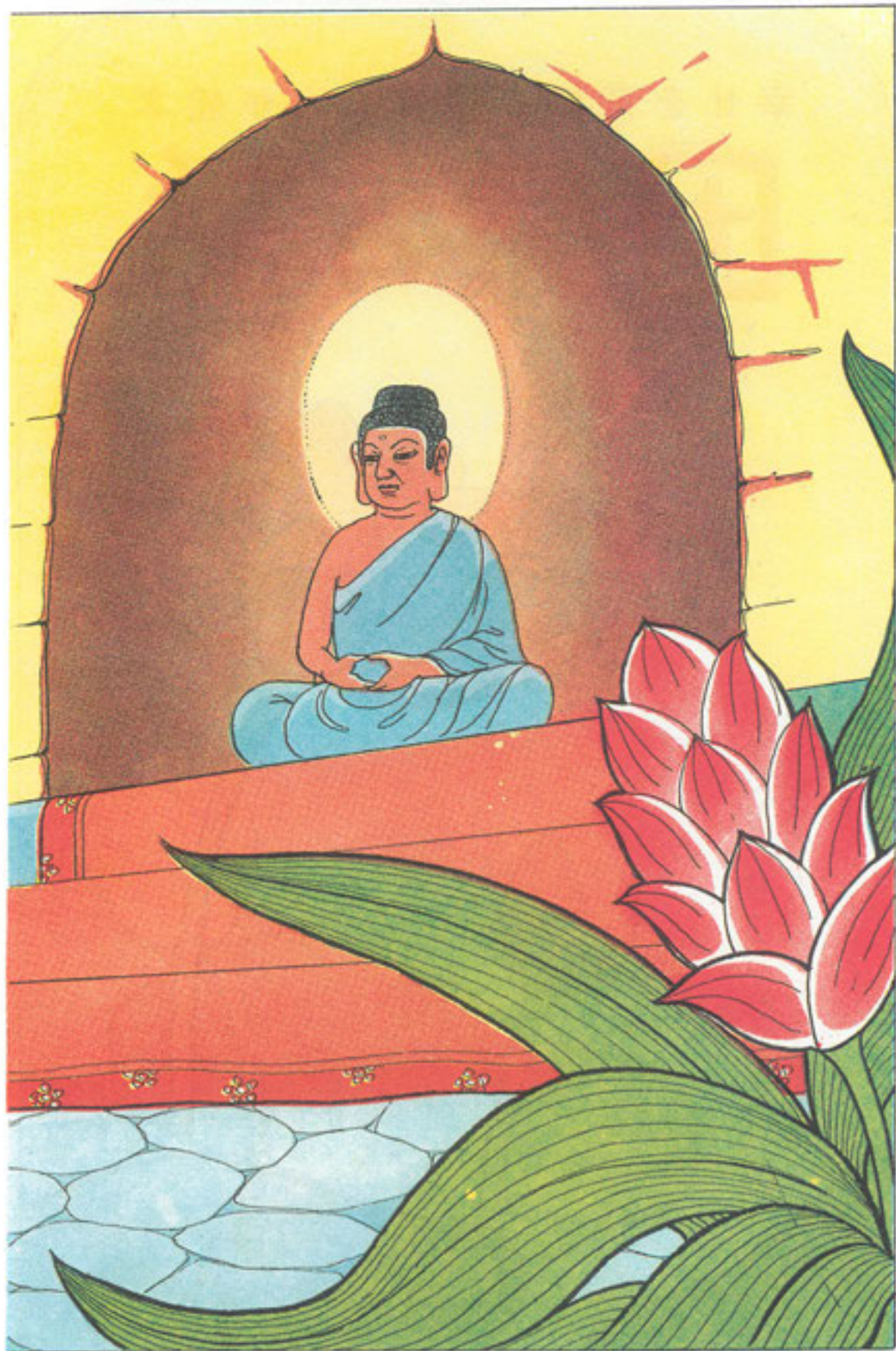
ねん

はなし

指導・監修 鈴木修学上人  
画 中村ひろし画伯









この世界は、ただひとりぼっちでは生きてゆけない。  
多くの人たちと力をあわせて自分も生き、  
人も生きてゆけるのである。

この実相を因縁の法という。

世の中のすべては、この因縁の力によって  
支配されている。すべて、この原因(因)と条件(縁)の  
働きて成り立っている。

この因と縁との働きかけがなくなれば、

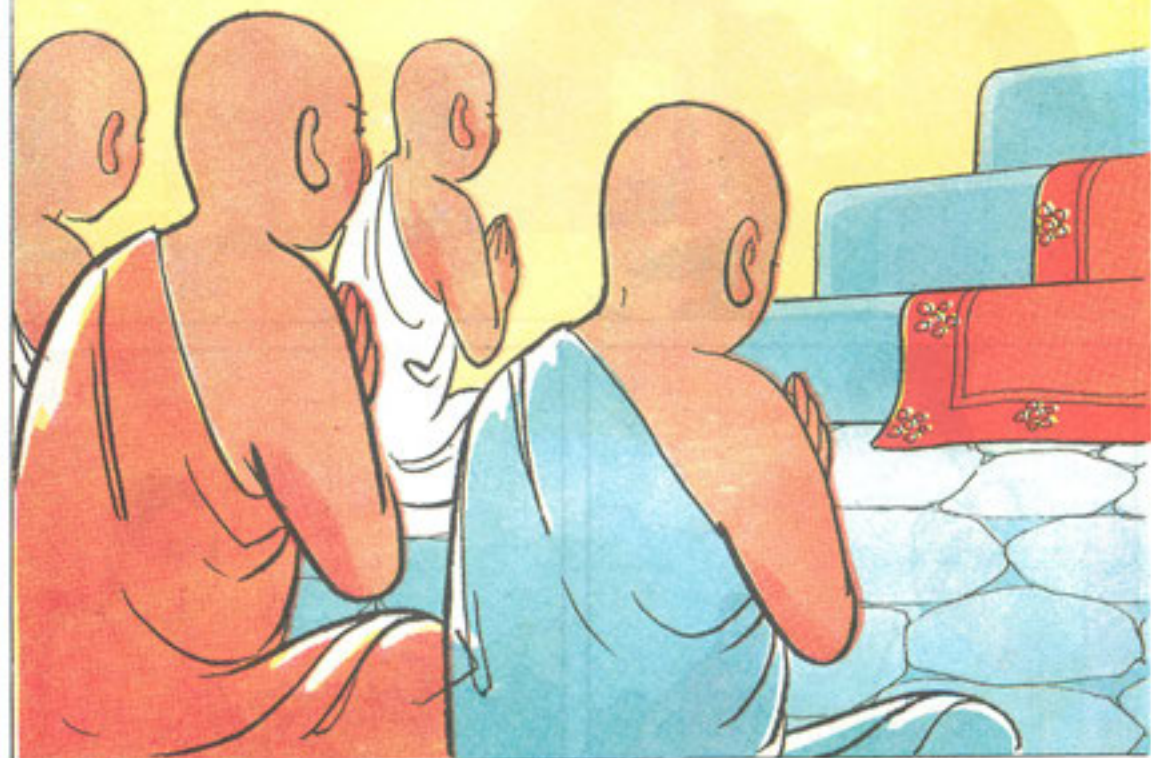
何一つ成り立つことはできない。

この世に自分ひとり成り立っているものは、  
何もない。また、

いつまでも変わらないでいられるというものも、ない。

ただ、この「すべては変わる」という法則だけは、  
永遠に変わらない真理である。

したがって、この因縁の真理を学びとることは、  
世界の真理を知ることになるのである。





# 光を求めて

ひかりもと

一日も早く  
善い師に  
あいたい  
ものだ



ありがとう  
ござい  
ます  
あなたに  
幸せが  
きます  
よう……



おちつた  
しずかな  
たいどだ  
だれて  
あろうか



ごくよう  
するものが  
ないので  
……  
あなたに  
幸せが  
きます  
ように



もし  
ちよつと  
おまら  
ください  
ごよう  
ですか



ことわら  
れてもしずかに  
あいての幸せを  
ねがう  
りつばな  
たいどだ……





私も お釈迦さまに  
ぜひ おめにかかりたいと  
思っていましたか……  
お釈迦さまは  
どんな 教えを  
といて いられるので  
しょうか……



私は シャリホツと  
いうものですが  
あなたは  
どなたの  
お弟子ですか  
私は  
お釈迦さまに  
おつかえしている  
アツサジ  
というものです



ただ一つ すべての  
ものは 原因と  
それをたすける  
縁とによって  
なりたつものだと  
教えられて  
おります  
因と縁……



私は  
お弟子となって  
まだ日も浅いので  
その教えをよく  
おはなしすることは  
できませんが……



たとえば  
お米にしても  
種をまかな  
ければ 芽は  
できません  
芽がそだつ  
ためには  
土や水が  
なければ  
そだらま  
せん……













私どもは  
舍利弗・目連と  
申します どうぞ  
われわれ二人を  
お弟子にして  
下さい そして  
因縁によって生じ  
因縁によって滅する  
みちをお教え  
ください



人は  
生まれることにより  
老死の苦しみ  
うれしいかなしみなやむ  
この苦しみのもとには  
みな因と縁とにより  
生ずるものなのだ



私は  
お前たち  
二人がくることを  
ずっと前から  
知っていた



因縁を知らないために  
苦しむのはわかりました  
どうすればその苦を  
とりとえることが  
できるのでしょうか



因縁を

さとりなき  
おろかな者は  
汚れた心で  
かたりに  
行なう故……



苦しみは  
重い車が  
その車を  
ひく人に  
したがうように……



汚れた心[のあとに](#)  
苦しみがしたがうのである  
清い心でかたりに清い心で  
行なうならば、楽しみは  
そのあとにしたがうで  
あらう  
かげが形[のあとに](#)  
すぐついていくように  
清い心[のあとに](#)、楽しみが  
したがうのである

よくわかりました  
どうぞわれらを  
おみちびきください



# 光ひかりとは？

仏ぼつさまは かぎりない智慧ちえを  
おもちになっておられます  
この仏ぼつさまの智慧ちえのお力ちからは  
光ひかりとなってすべての  
ものをてらして  
おられます



電灯でんとうでも  
光ひかりを  
はなれます  
が…



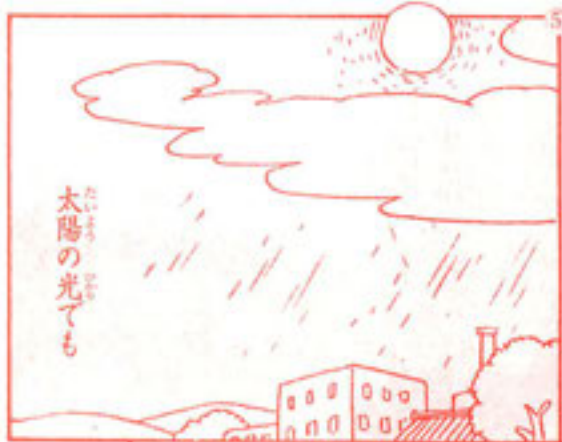
ろうそくでも



光ひかりのとどこかない  
ところ  
があります



お月つきさまの光ひかりでも  
きえぎるものが  
あれば、てらすことは  
できません



太陽たいようの光ひかりでも



しかし  
仏ぼつさまの光ひかりは  
おてらしにならない  
ところ  
ありません





目で見える光は  
私たちがからだを  
てらすだけで  
ありますが  
仏さまの光は  
私たちの  
心をてらします



ろうそくや  
電灯の光  
また 太陽や月の光は  
われわれの目に見える  
光ですが 仏さまの光は  
私たちの目には  
みえない光です



太陽の  
光が  
世のなかを  
明るくするように  
仏さまの光は  
われわれの心をきよく  
正しく 明るくなるよう  
おしえてくださいます



そして私たちが 仏さまに  
手をあわせるときは  
かならず それをみていて  
くださいます 私たちが  
仏さまを 念ずるときは  
仏さまも 私たちを守って  
くださいます



仏さまのかぎりない大きな  
慈悲のお心は  
少しの間も私たちが心から  
おはなれに なりません



私たちの  
心に  
仏さまのことを  
おもうとき  
仏さまは それを  
知っていらっしゃることを  
わすれては なりません